

『日本のクラシックホテルと国際観光政策』講演会開催のご案内

2020.09.24

日本インテリア学会関西支部 来海素存

日頃は、日本インテリア学会の活動にご協力頂きまして有難うございます。関西支部では、今年度の総会の開催に向けて準備を進めてまいりましたが、新型コロナウイルスの蔓延により、中止をすることになりました。しかし、支部の新体制も整い、オンライン会議システムを利用した講演会を開催いたします。今回は、長い年月を経て愛され、そして今後も継承されるべきクラシックホテルの時代的な役割や、インテリアデザインの特徴や様式について、神戸女子大学 家政学部家政学科 砂本文彦教授に講演して頂きます。

実施日 **2020年10月18日（日）**

【開催時間＝15：00 開始】聴講は、**全員オンライン**とします。

14時45分 ZOOM公開開始	16時10分～16時20分 休憩
15時00分～15時10分	16時20分～16時40分 質疑応答
日本インテリア学会関西支部 講演ご挨拶	16時40分 終了
15時10分～16時10分 講演	

講師略歴 神戸女子大学 家政学部 家政学科 砂本文彦教授
1972年生まれ。豊橋技術科学大学大学院修士課程修了。工学博士。
東京大学博士論文にて日本都市計画学会論文奨励賞受賞。
著書『近代日本の国際リゾート 1930年代の国際観光ホテルを中心に』（青弓社）
建築史学会賞、日本観光研究学会賞受賞。

蒲郡クラシックホテル



東京ステーションホテル



奈良ホテル メインダイニング



現在、すっかりしぼんでしまった日本の外国人観光客の誘致ですが、それでも100年単位で見えていくと、世界恐慌、第二次世界大戦、オイルショックを超えて、歴史的には拡大路線にあることは変わりありません。外国人をまっさきに迎えた建築はホテルであり、日本のホテルは江戸時代末期からつくられていきました。最初はホテルを「洋式旅館」と理解して自由闊達につくる時期がありましたが、しだいにホテルというビルディングタイプに収斂していきました。その過程では、外国人誘致が国策化されて、外国人（ほとんどは西洋人）の日本滞在を円滑にするためのインテリアへの洋式の積極的導入とともに、ときに和風を付加して日本らしさをいかに魅せるかの戦略的な試行がありました。レクチャーでは、現在に残るクラシックホテルを中心に紹介してこの経過とひろがりを迎るとともに、ホテル建築が世界と日本を繋ぐものだという事に思いを寄せて頂ければと存じます。

募集人数 **50名** (事前申込要・先着順)

会費 学会正会員：無料／一般・会員外：1,000円／学生：無料 * 会費には経費等含む

申込方法 日本インテリア学会関西 ホームページ(下記URL)の申込フォーマットに必要事項を入力し、送信して下さい。
尚、参加費は、事前に学会の指定する金融機関口座へお振込をして頂きます。
振込先 は上記申込書に記載しています。 (振込後のキャンセルによる返金は致しません)

JASIS-Kansai ⇒ jasis.weblike.jp/form/2020kouenkai/

申込用のフォーマットへの記載項目	氏名	フリガナ ()		
	学校(会社)名	所属・役職		
	会員	<input type="checkbox"/> 正会員(所属支部名) ()	<input type="checkbox"/> 一般(会員外)	<input type="checkbox"/> 学生
	住所			
	E-MAILアドレス(必ず記入して下さい) ⇒			
	携帯番号	()	-	申込締切り 10月10日(土) 17:00
	TEL	()	-	
FAX	()	-		
				会費振込締切り 10月12日(月)

インターネット環境が不備の方は、この用紙を印刷して、06-6372-7566 へFAXして下さい。
会費振込者には、後日「詳細案内資料」ZOOMのID、PWをmail送付します。

【講演会担当者：来海(きまち) 080-9604-1507】